取扱説明書 C@T-one™

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

重要

ご使用の前には必ず取扱説明書（本書）をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

ユーザー登録のお願い

お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、ユーザー登録をお願いいたします。

登録方法：当社ホームページからオンライン登録
下記アドレスにアクセスし、ご登録ください。
http://www.eizo.co.jp/registration/

* お客様からご登録いただく個人情報は、下記の目的で使用いたします。
- ご購入製品に関するサポート・サービス
- 新製品に関するご案内、アンケートの送付
- よりよい製品開発のための参考情報

お客様の個人情報は、適切な安全対策のもと管理し、原則として、お客様の同意なく第三者に提供することはございません。

製品に関するお問い合わせ先

- EIZO コンタクトセンター
  0120-956-812
  受付時間：9:30 〜 18:00（月曜日〜金曜日）
  ※ 祝祭日、当社休業日を除く

故障 / 修理に関するお問い合わせ先

- エイゾーサポート
  – 電話での問い合わせ受付
  本社：076-274-2474
  東京：03-3458-7737
  大阪：06-6396-0357
  営業時間：9:30 〜 17:30（月曜日〜金曜日）
  10:00 〜 17:00（土曜日）
  ※ 祝祭日、当社休業日を除く
  – FAX での問い合わせ受付
  076-274-2416

廃棄について

個人のお客様：
自治体の指示に従って廃棄してください。
法人のお客様：
産業廃棄物として処理してください。

株式会社ナナオ
〒 924-8566　石川県白山市下柏野町 153 番地
ホームページ http://www.eizo.co.jp

第 2 版　2008 年 8 月
03V22362B1（U.M-CATONE）

使用上の注意

⚠警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに販売店またはエイゾーサポートに連絡する
そのまま使用すると火災や故障の原因となります。

製品を分解、改造しない
本製品を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。

異物を入れない、液体を置かない
本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や故障の原因となります。万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

重いものを置かない
本製品の上に重いものを置くと変形や落下事故の原因になります。

次のような場所で使用しない
火災や故障の原因となります。

- 屋外。湿気やほこりの多い場所。水滴のかかる場所。油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。

本製品の底面（光学センサー LED）から発せられる赤い光を見つめない
目を傷める原因となります。

乾電池の取り扱いに注意する
誤った使用は破裂や液漏れの原因となります。

- 分解や加熱をしたり、濡らしたりしない。
- 乾電池の取りつけ、交換は正しくおこなう。
- 交換は、2 本とも同じ種類（単 3 形のマンガン電池、アルカリ電池、ニカド電池、ニッケル水素電池）・銘柄の新しい乾電池を使う。
- プラス（+）とマイナス（−）の向きを正しく入れる。
- 被覆にキズの入った乾電池は使用しない。
- 廃棄時は地域指定の「乾電池回収箱」などへ入れる。

使用を禁止されている区域（航空機内や病院など）で使用しない
本製品は 2.4GHz 周波数帯の微弱電波を使用しているため、電子機器や医療機器（例えばペースメーカー）などに影響を及ぼす恐れがあります。

仕様

C@T-one	インターフェース	マウス：電波方式　RF2.4GHz リモコン：赤外線送信
	電池持続時間	約 3 ヶ月（新品アルカリ乾電池使用時） * 使用頻度によって変わります。
	寸法	ϕ 83 × 32.9mm（突起部除く）
	質量	約 120g（乾電池含む）
レシーバー	インターフェース	USB Specification Revision 1.1/2.0 準拠
	寸法	18 × 47.2 × 9.4mm
	質量	約 6g
環境条件	温度	動作温度範囲：0 〜 35℃ 輸送および保存温度範囲：-20 〜 60℃
	湿度	動作湿度範囲：30 〜 80%R.H. 非結露状態 輸送および保存湿度範囲：30 〜 80%R.H. 非結露状態
	気圧	動作時：700 〜 1060hPa. 非動作時：500 〜 1060hPa.

- **外観寸法**　単位：mm
  – C@T-one
  – レシーバー

C@T-one について

本製品は、リモコン機能を搭載したワイヤレス光学式マウスです。
コンピュータのマウスとしてはもちろん、テレビやチューナーなどの簡易マルチリモコンとしてもご利用いただけます。

梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。
万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

- C@T-one 本体
- レシーバー
- 単 3 形乾電池（2）
- C@T-one Utility Disk（CD-ROM）
  – はじめにお読みください（テキストファイル）
  – C@T-one Setup Tool 取扱説明書（PDF ファイル）
  * PDF ファイルを見るには、Adobe Reader のインストールが必要です。
  – C@T-one Setup Tool ソフトウェア（インストーラー）
- 取扱説明書（本書：保証書付）

必要なシステム条件

- Windows で使用する場合
  – Pentium 互換プロセッサ 300MHz 以上、128MB 以上の RAM
  – PC/AT 互換機
  – OS：Windows 2000 シリーズ
  Windows XP シリーズ
  Windows Vista シリーズ
  – USB ポート標準搭載（USB 規格 Rev.1.1 以上）
- Macintosh で使用する場合
  – OS のシステム要件を満たす Macintosh
  – 128MB 以上の RAM
  – OS：Mac OS X 10.3.9 以降
  – USB ポート標準搭載（USB 規格 Rev.1.1 以上）

保証書

この保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから、必ずお買い上げ年月日・販売店・住所・電話番号の記入をご確認ください。

保証期間	お買い上げの日より **1** 年間
製造番号	

お客様	フリガナ
	お名前　　　様
ご住所　〒	
TEL　(　　　)	

販売店	お買い上げ年月日　　年　　月　　日
	住所・店名・TEL・担当者

＊この保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。なお、保証期間経過後の修理についてご不明な場合はお買い上げの販売店またはエイゾーサポートまでお問い合せください。
＊当社では、この製品の補修用部品を（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

保証規定

1. 本製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無料にて故障箇所の修理をさせていただきますので、保証書を添えてお買い上げの販売店またはエイゾーサポートまでお申しつけください。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
   ・保証書のご提示がない場合
   ・保証書の所定事項が未記入、または字句が書き換えられている場合
   ・使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   ・お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷
   ・火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷
   ・車両・船舶などに搭載された場合に生じる故障及び損傷
   ・電池の液漏れによる故障及び損傷
   ・一般家庭用以外（例えば業務用）での使用による故障及び損傷
   ・液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
   ・外装品（液晶パネルの表面含む）の損傷、変化、劣化
   ・付属品（ケーブル、B-CAS カード、取扱説明書など）の交換
   ・当社指定の消耗品（電池、スイッチ / ボタン / レバー類、スタンド部、回転部など）
   ・技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
3. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

本製品について

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- 本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。
- マウスの光学式センサーは、透明な素材（ガラス板など）や光反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など）の表面では、動作しない場合があります。
- 鉄、鋼、アルミなどの材質は、本製品の無線性能を低下させるおそれがあります。これらの材質のものから 10cm 以上離れた場所でお使いください。
- 本製品の近くで携帯電話をご使用される場合に電波の影響を受けて動作が不安定になる場合がありますので、影響を受けない距離を保ってください。
- センサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。
- ボタンが常に押されている状態や、C@T-one 本体が常に動かされているような状態が長く続くと、乾電池の消耗が速くなりますので注意してください。
- カバン、袋などに入れて持ち歩くときは、乾電池を必ず取り外してください。
- 本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。（「クリーニングのしかた」参照）
- 本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまでお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は C@T-one 表面をいためるため、絶対に使用しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、基準に適合できない恐れがあります。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の反射を停止した上、エイゾーサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定子電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、エイゾーサポートへお問い合わせください。

乾電池の入れかた

1. C@T-one 側面のツメを押し（①）、カバーを取り外します（②）。

2. 単 3 形乾電池を入れ、カバーを元に戻します。
乾電池を入れる向きに注意してください。

操作可能範囲

C@T-one は図の範囲内から操作してください。

- マウス操作のとき

- リモコン操作のとき

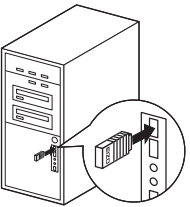
注意点

- 使用機器や操作場所、部屋の条件などにより操作距離が変わります。

セットアップ

マウス機能のセットアップ

1. コンピュータの電源を入れ、OS を起動します。

2. レシーバーをコンピュータの USB ポートに接続します。
レシーバーを接続すると、自動的に USB 機能がセットアップされます。USB 機能のセットアップが完了すると、マウス操作が可能になります。

リモコン機能のセットアップ

リモコン操作を可能にするには、C@T-one にリモコンコードを設定する必要があります。

お買い上げ時はナナオ製の地上デジタル対応テレビ「FORIS.TV SC**XD2」「FORIS.HD DT**ZD1」が操作できるようになっています。これらの機器をご使用の場合はリモコンコードを設定する必要はありません。

※設定方法には次の 2 通りあります。通常は『方法 1』で設定してください。

方法 1 C@T-one Setup Tool（リモコンコード設定ソフトウェア）で設定する

コンピュータに「C@T-one Utility Disk」（CD-ROM）内の「C@T-one Setup Tool」をインストールして設定します。
（CD-ROM 内「C@T-one Setup Tool 取扱説明書」参照）

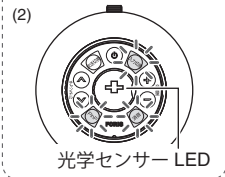
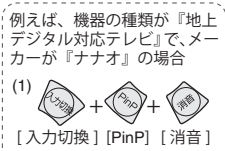
方法 2 C@T-one のリモコンボタンで設定する

C@T-one のリモコンボタン操作での設定方法です。使用機器（テレビやビデオなど）やコンピュータに向けて操作する必要はありません。

1. 操作する機器の種類・メーカーを設定します。

(1) **右記［表 1］から機器の種類およびメーカーに対応する 3 つのリモコンボタンを確認します。**
* 表にない機器およびメーカーは、本製品で操作することができません。

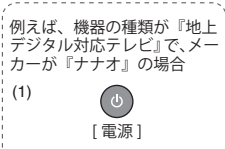
(2) **確認した 3 つのリモコンボタンを、同時に 2 秒以上押します。**
光学センサー LED が点滅して設定モードに移行し、機器の種類・メーカーが設定されます。
* 設定モード移行後、ホイールボタンを 2 秒以上押すか、120 秒間ボタン操作されない時間が続くと、設定がキャンセルされ、設定モードが終了します。

例えば、機器の種類が『地上デジタル対応テレビ』で、メーカーが『ナナオ』の場合
(1) [入力切換] + [PinP] + [消音]
［入力切換］［PinP］［消音］
(2)
光学センサー LED

2. 操作する機器の ID 番号を設定します。

- ID 番号とは各メーカーが持つリモコンコードの種類を表す番号です。機器によって異なります（［表 2］（　）内参照）。
- ID 番号が複数ある場合は、「①」から順に試してください。

(1) **［表 2］から機器の種類およびメーカーに対応するリモコンボタンを確認します。**

(2) **確認したリモコンボタンを押します。**
例：ID 番号「①」を設定する場合は、ボタンを 1 回押します。
（ボタンを押した回数が ID 番号として設定されます。）

例えば、機器の種類が『地上デジタル対応テレビ』で、メーカーが『ナナオ』の場合
(1) [電源]
［電源］
(2)

3. 設定を確定します。

(1) **ホイールボタンをクリックします。**
光学センサー LED が消灯して設定モードが終了し、設定が確定されます。

4. リモコンコードが正しく設定されているか確認します。

(1) **リモコンボタンの [入力切換] を押し、機器を操作してみます。**
→ 入力切換が正しく動作する → リモコンコード設定完了
* 設定した ID 番号をメモしておくことをおすすめします。
→ 入力切換が正しく動作しない → 手順 1 の (2) からやり直し
* やり直す場合は、手順 2 の (2) で ID 番号を変えてください。
例：ID 番号「①」で動作しなかった場合は、ボタンを 2 回押し ID 番号を「②」に設定します。

注意点

- 手順 2 で、手順 1 と異なるメーカーのボタンを押したり、ID 番号が超えてしまった場合は、設定がキャンセルされ、設定モードが終了します。また、ID 番号が「⑥」以上になると押すボタンが変わります。（その場合、1 回押すと「⑥」2 回押すと「⑦」･･･と設定されます。）

［表 1］操作する機器の種類･メーカーを設定するリモコンボタン

種類	メーカー	ボタン
地上デジタル対応テレビ	ナナオ / シャープ / パナソニック / ソニー / 東芝	[入力切換] + [PinP] + [消音]
	日立 / 三菱 / パイオニア / ビクター / サンヨー / フナイ	[電源] + [PinP] + [消音]
地上デジタル非対応テレビ	ナナオ / シャープ / パナソニック / ソニー	[放送切換] + [PinP] + [消音]
	東芝 / 日立 / 三菱 / パイオニア / ビクター / サンヨー / フナイ	[PinP] + [＋] + [消音]
モニター	ナナオ	[電源] + [＋] + [消音]
ビデオレコーダー	シャープ / パナソニック / ソニー / 東芝 / 日立 / 三菱 / パイオニア / ビクター	[電源] + [PinP] + [＋]
デジタルチューナー	シャープ / パナソニック / ソニー / 日立 / フナイ / マスプロ / 八木アンテナ	[電源] + [∨] + [＋]
CATV チューナー	パナソニック / パイオニア / HUMAX / NEC	[電源] + [∧] + [＋]

［表 2］操作する機器の ID 番号を設定するリモコンボタン　　* (　) 内は ID 番号

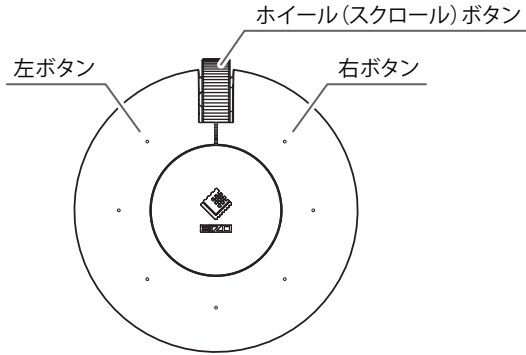
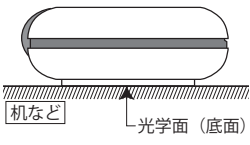
種類	メーカー	ボタン	メーカー	ボタン
地上デジタル対応テレビ	ナナオ (①/②/③)	[電源]	日立 (①)	[電源]
	シャープ (①)	[入力切換]	三菱 (①/②/③)	[入力切換]
	パナソニック (①)	[放送切換]	パイオニア (①/②/③)	[放送切換]
	ソニー (①/②/③/④/⑤)	[消音]	ビクター (①/②)	[消音]
	東芝 (①)	[PinP]	サンヨー (①)	[PinP]
	フナイ (①)	[＋]		
地上デジタル非対応テレビ	ナナオ (①/②)	[電源]	東芝 (①/②/③/④/⑤)	[電源]
	シャープ (①/②/③/④/⑤)	[入力切換]	東芝 (⑥/⑦/⑧/⑨/⑩)	[入力切換]
	シャープ (⑥/⑦/⑧/⑨)	[放送切換]	日立 (①/②/③)	[放送切換]
	パナソニック (①/②/③)	[消音]	三菱 (①/②/③/④)	[消音]
	ソニー (①/②/③/④/⑤)	[PinP]	パイオニア (①)	[PinP]
	ソニー (⑥/⑦/⑧/⑨/⑩)	[＋]	ビクター (①/②/③/④/⑤)	[＋]
	ソニー (⑪/⑫/⑬/⑭/⑮/⑯)	[－]	サンヨー (①/②)	[－]
	フナイ (①/②)	[∧]		
モニター	ナナオ (①)	[電源]		
ビデオレコーダー	シャープ (①/②/③/④)	[電源]	日立 (①/②/③/④/⑤)	[PinP]
	パナソニック (①/②/③/④)	[入力切換]	三菱 (①/②/③/④)	[＋]
	ソニー (①/②/③/④)	[放送切換]	パイオニア (①/②/③/④/⑤)	[－]
	東芝 (①/②/③)	[消音]	ビクター (①/②)	[∧]
デジタルチューナー	シャープ (①/②)	[電源]	フナイ (①/②)	[PinP]
	パナソニック (①/②)	[入力切換]	マスプロ (①/②/③)	[＋]
	ソニー (①/②)	[放送切換]	八木アンテナ (①)	[－]
	日立 (①/②)	[消音]		
CATV チューナー	パナソニック (①/②/③/④)	[電源]	HUMAX (①)	[放送切換]
	パイオニア (①/②/③)	[入力切換]	NEC (①)	[消音]

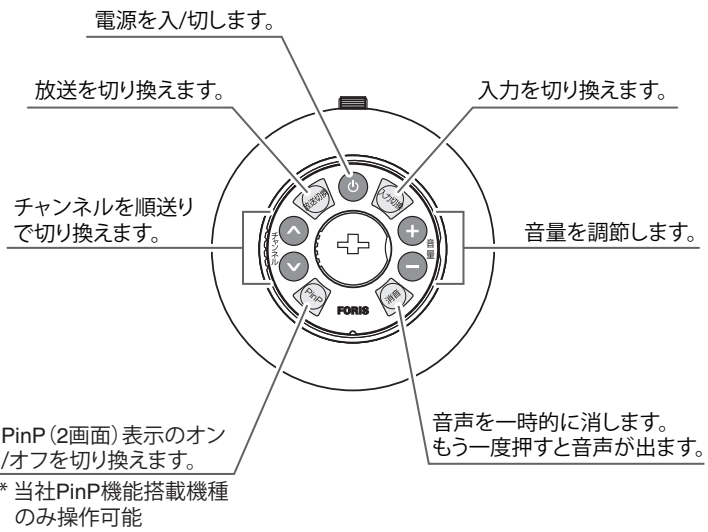
操作のしかた

マウス操作

注意点

- C@T-one は次の条件を満たしている場合に、マウスとして動作します。
  - 光学面が机などに接地していること
  - C@T-one を水平に保っていること
  （C@T-one が大きく傾くとマウス機能がオフになります。）

ホイール（スクロール）ボタン
左ボタン
右ボタン

マウスを操作（クリック、ホイール動作）しない状態が 30 分続くと、マウス機能は省電力モードへ移行します。省電力モードでは、マウスを動かしても画面上のポインタが動きません。
マウス操作を再開するには、C@T-one を水平にして机などに接地させ、ボタンをクリックした後に C@T-one を動かしてください。

リモコン操作

参考

- リモコン操作時にマウスボタンを押してしまうことがありますが、リモコン面を上に向けると、光学センサー LED が消灯しマウス機能が自動的にオフになるため、使用上は問題ありません。

故障かなと思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次の項目を確認してください。
それでも症状が改善しない場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

1. マウス操作もリモコン操作も効かない
- ❑ 乾電池を入れる方向を間違っていませんか。
- ❑ 乾電池が消耗していませんか。

2. マウス操作が効かない
- ❑ 光学面が接地していますか。
- ❑ C@T-one が水平に保たれていますか。
- ❑ C@T-one の操作範囲外で操作していませんか。

3. マウスカーソルの動きがスムーズでない
- ❑ ガラスなどの透明な素材や光を反射する素材の上などでご使用の際は、動作しない場合がありますので避けてください。

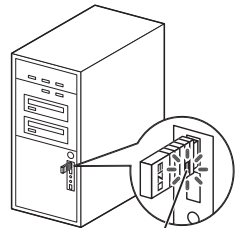
4. リモコン操作が効かない
- ❑ 操作する機器のリモコン受光部に向けていますか。
- ❑ 操作する機器のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。
- ❑ C@T-one の操作範囲外で操作していませんか。
- ❑ C@T-one のリモコンコードが操作する機器に合っていますか。

参考情報

C@T-one またはレシーバーのどちらか片方を交換した場合

下記手順に従って、「ペアリング」操作をおこなってください。
ペアリングとは、C@T-one とレシーバー双方の通信を可能にするためにそれぞれの機器に接続先を認識させることです。どちらかを新しいものに交換する場合に必要な操作です。

1. リモコンボタンの を同時に 2 秒以上押します。
光学センサー LED が点滅し、ペアリングモードに移行します。

2. レシーバーをコンピュータの USB ポートに接続し、「リンクスイッチ」を押します。
光学センサー LED が消灯し、ペアリングが完了します。

参考

- 15 秒以内に設定できない場合にはペアリングモードが終了します。